写

# 認　定　書

国住指第 3384 号
令和 2 年 2 月 10 日

ニチハ株式会社
代表取締役社長　山中　龍夫 様

国土交通大臣　　赤羽　一嘉

下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第七号並びに同法施行令第 107 条第一号及び第三号（屋根：各 30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
　　FP030RF-1834-2(1)

2. 認定をした構造方法等の名称
　　住宅屋根用化粧スレート・硬質木片セメント板表張／軽量鉄骨下地屋根

3. 認定をした構造方法等の内容
　　別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

別　添

1. 構造名：
住宅屋根用化粧スレート・硬質木片セメント板表張／軽量鉄骨下地屋根

2. 仕様の寸法：
仕様の寸法を表1に示す。

表1　仕様の寸法

| 項　目 | 仕　様 |
|---|---|
| 支持部材間隔 | 2000mm以下 |
| たるき間隔 | 610mm以下 |
| 屋根葺材の種類 | スレート葺き |

3. 仕様の主構成材料：
仕様の主構成材料を表2に示す。

表2　仕様の主構成材料

| 項　目 | 仕　様 |
|---|---|
| たるき | 材料：一般構造用軽量形鋼(JIS G 3350)<br>形状・寸法：(1)又は(2)<br>(1)[－100×50×20×2.3mm以上<br>(2)□－100×50×2.3mm以上 |
| 屋根葺材 | 仕様：住宅屋根用化粧スレート(JIS A 5423)<br>葺材単位面積質量：24.2kg/m$^2$以下 |
| 裏打材 | 仕様：なし |
| 野地板 | 材料：硬質木片セメント板(JIS A 5404)<br>厚さ：18(－2)mm以上<br>密度：1.1(－0.1)g/cm$^3$以上<br>表面塗料：①～⑦のいずれか、又は組み合わせ<br>①アクリルウレタン樹脂系塗料<br>②アクリル樹脂系塗料<br>③アクリルシリコーン樹脂系塗料<br>④フッ素樹脂系塗料<br>⑤エポキシ樹脂系塗料<br>⑥無機質系塗料<br>⑦なし<br>塗布量(有機固形分量)：200g/m$^2$以下 |

4. 仕様の副構成材料：

仕様の副構成材料を表3に示す。

表3　仕様の副構成材料

| 項　目 | 仕　様 |
|---|---|
| たるき取付金物 | 材料：一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101)<br>形状・寸法：①～③の一、又は組合せ(但し、②についてはたるきダブル部位のみに使用)<br>①不等辺山形鋼又は山形鋼L－75×75×6mm以上<br>②平鋼FB－6×75×65mm以上<br>③リブ付き山形鋼L－75×75×6mm以上<br>リブ寸法：10×40×1.6mm以上<br>リブ本数：1本以上 |
| たるき留付材 | 材料：①及び②、又は③<br>①六角ボルト(JIS B 1180)<br>寸法：M12×25mm以上<br>②ナット(JIS B 1181)<br>寸法：M12以上<br>③アーク溶接<br>溶接幅：2.3mm以上<br>溶接長さ：20mm以上 |
| 防水材 | 材料：①～⑤の一<br>①アスファルトルーフィングフェルト(JIS A 6005)<br>②合成高分子系ルーフィングシート(JIS A 6008)<br>③改質アスファルトルーフィングシート(JIS A 6013)<br>④改質アスファルトルーフィングシート<br>(JWMA規格ARK04S-04、ARK08-02、ARK14W-04、ARK16K02)<br>①～④の単位面積質量の呼び：1500以下<br>⑤透湿防水シート(JIS A 6111)<br>単位面積質量：1500g/m²以下 |
| 野地板目地 | 仕様：(1)～(4)の一<br>(1)目透かし目地＋ジョイナー<br>ジョイナーの材料：①～㉖の一<br>①塗装ステンレス鋼板(JIS G 3320)<br>(国土交通大臣認定不燃材料：NE-0042、NE-0046)<br>②熱間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4304)<br>③冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305)<br>④塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)<br>⑤溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321)<br>⑥塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)<br>⑦溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302)<br>⑧塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318)<br>⑨溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3317)<br>⑩電気亜鉛めっき鋼板(JIS G 3313)<br>⑪溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314)<br>⑫両面ポリエステル樹脂系塗装／アルミニウムめっき鋼板<br>(国土交通大臣認定不燃材料：NM-9583、NM-9584)<br>⑬フッ素樹脂系塗装／裏面ポリエステル樹脂系塗装／アルミニウムめっき鋼板(国土交通大臣認定不燃材料：NM-9662)<br>⑭両面アクリル樹脂系塗装／亜鉛めっき鋼板<br>(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8341、NM-8514)<br>⑮両面ポリエステル樹脂系塗装／溶融アルミニウムめっき鋼板<br>(国土交通大臣認定不燃材料：NM-1863) |

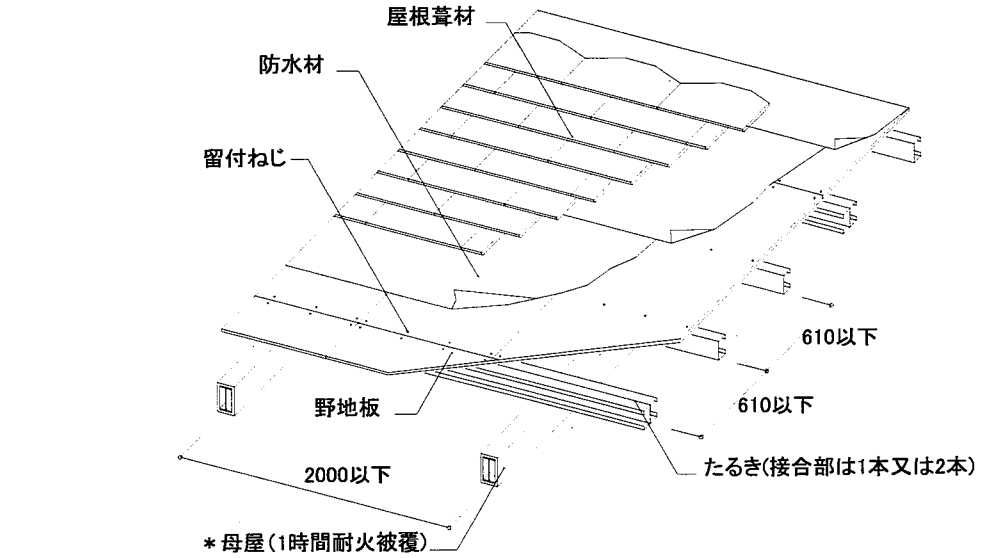
つづく

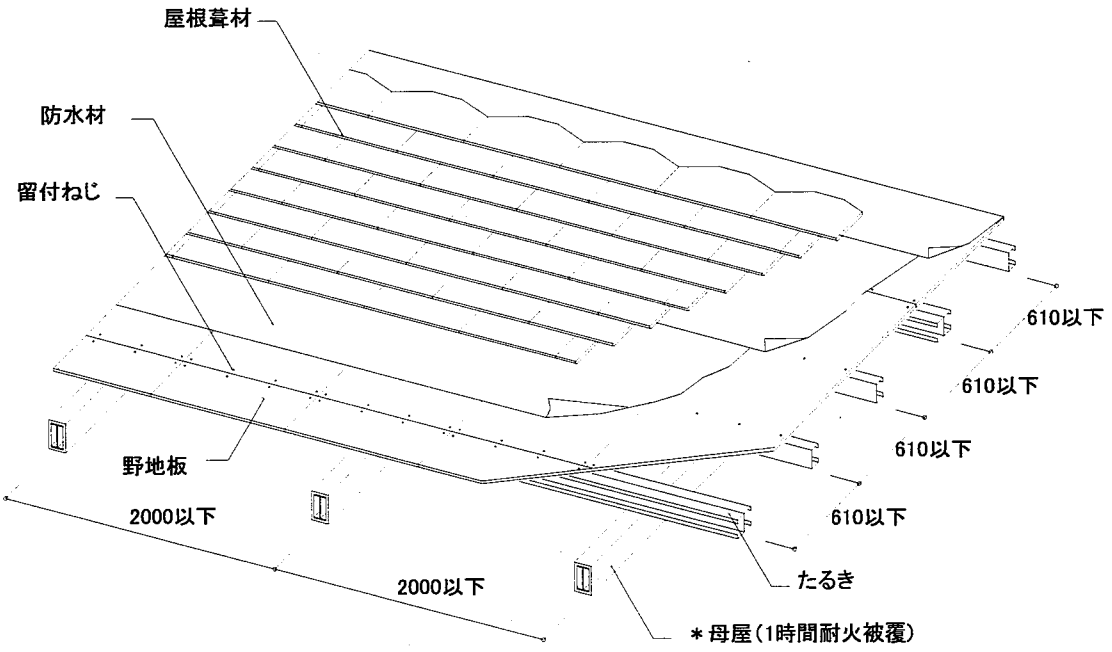
つづき

| | |
|---|---|
| 野地板目地 | ⑯塗装／亜鉛めっき鋼板<br>(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8697)<br>⑰建築構造用溶融亜鉛－アルミニウム－マグネシウム合金めっき鋼板<br>(国土交通大臣認定指定建築材料：MSTL-0064、0065、0069、0070、0365、0395)<br>⑱フッ化ビニリデン樹脂系塗装／両面アクリル・塩化ビニル樹脂系塗装／亜鉛めっき鋼板(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8400)<br>⑲アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8027)<br>⑳ポリエステル樹脂系塗装／アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板<br>(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8028)<br>㉑塗装亜鉛合金板／塗装鋼板(国土交通大臣認定不燃材料：NE-0040、NE-0044)<br>㉒亜鉛合金板／塗装鋼板(国土交通大臣認定不燃材料：NE-0041、NE-0045)<br>㉓塗装亜鉛合金板／鋼板(国土交通大臣認定不燃材料：NE-0042、NE-0046)<br>㉔亜鉛合金板／鋼板(国土交通大臣認定不燃材料：NE-0043、NE-0047)<br>㉕伸銅品(JIS H 3100)、(JIS H 0500)、(JIS H 5120)、<br>又は(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8586～NM-8595の一)<br>㉖チタン展伸材(JIS H 4600)、(JIS H 4657)、<br>又は(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8596)<br>塗装品の塗装の種類：1)～8)の一<br>1)ポリエステル系樹脂塗料<br>2)アクリル系樹脂塗料<br>3)シリコーン系樹脂塗料<br>4)アミノ・アルキド系樹脂塗料<br>5)塩化ビニル系樹脂塗料<br>6)フッ素系樹脂塗料<br>7)エポキシ系樹脂塗料<br>8)ウレタン系樹脂塗料<br>塗布量：65g/m²以下(片面)、130g/m²以下(両面)<br>ジョイナーの厚さ：0.27mm以上<br>ジョイナーの形状：T型又はH型<br>(2)突付け目地<br>(3)突付け目地＋ジョイナー<br>ジョイナーの材料、厚さ及び形状：(1)と同じ<br>(4)突付け目地＋テープ<br>テープの材質：アルミニウム<br>テープの厚さ：0.2mm以上<br>テープの幅：20mm以上 |
| 留付材 | 屋根葺材固定用：<br>材料：ねじ<br>材質：鋼製又はステンレス鋼製<br>寸法：呼び径φ4.0×長さ20mm以上<br>留付間隔：800mm以下 |
| | 野地板固定用：<br>材料：ねじ<br>材質：鋼製又はステンレス鋼製<br>寸法：呼び径φ4.0×長さ30mm以上<br>留付間隔：303mm以下 |

5. 仕様の構造説明図：
仕様の構造説明図を図1～図3に示す。

寸法単位：mm

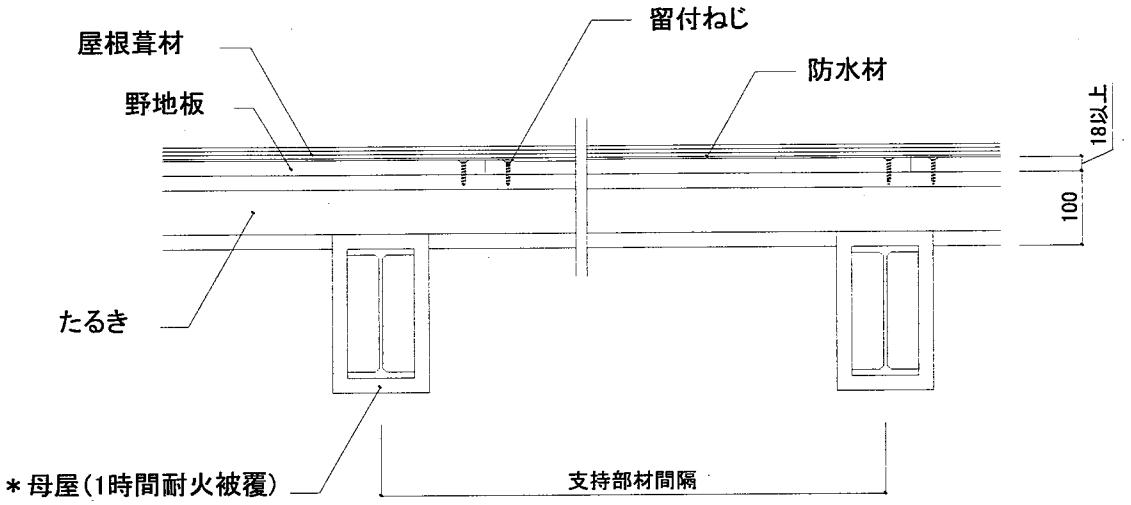


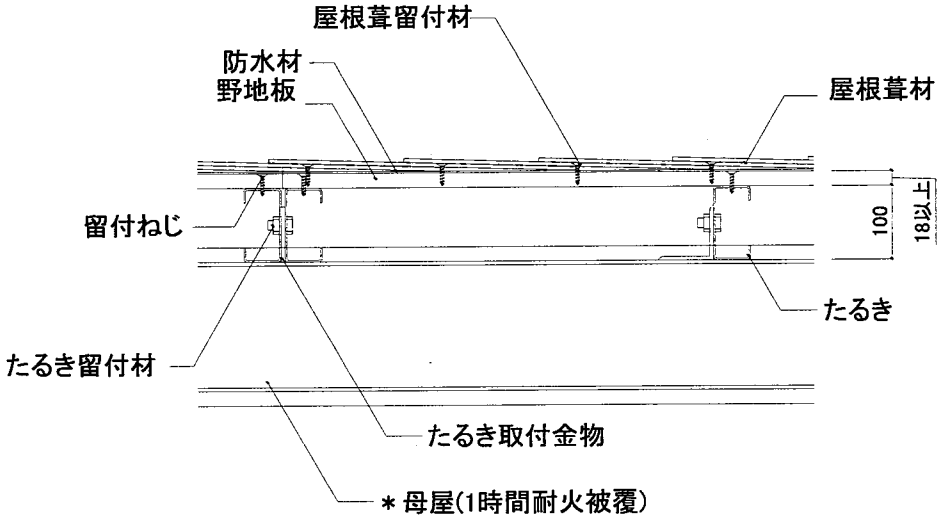




＊評価対象外

図1　構造説明図

寸法単位：㎜




＊評価対象外

図2　構造説明図

単位mm

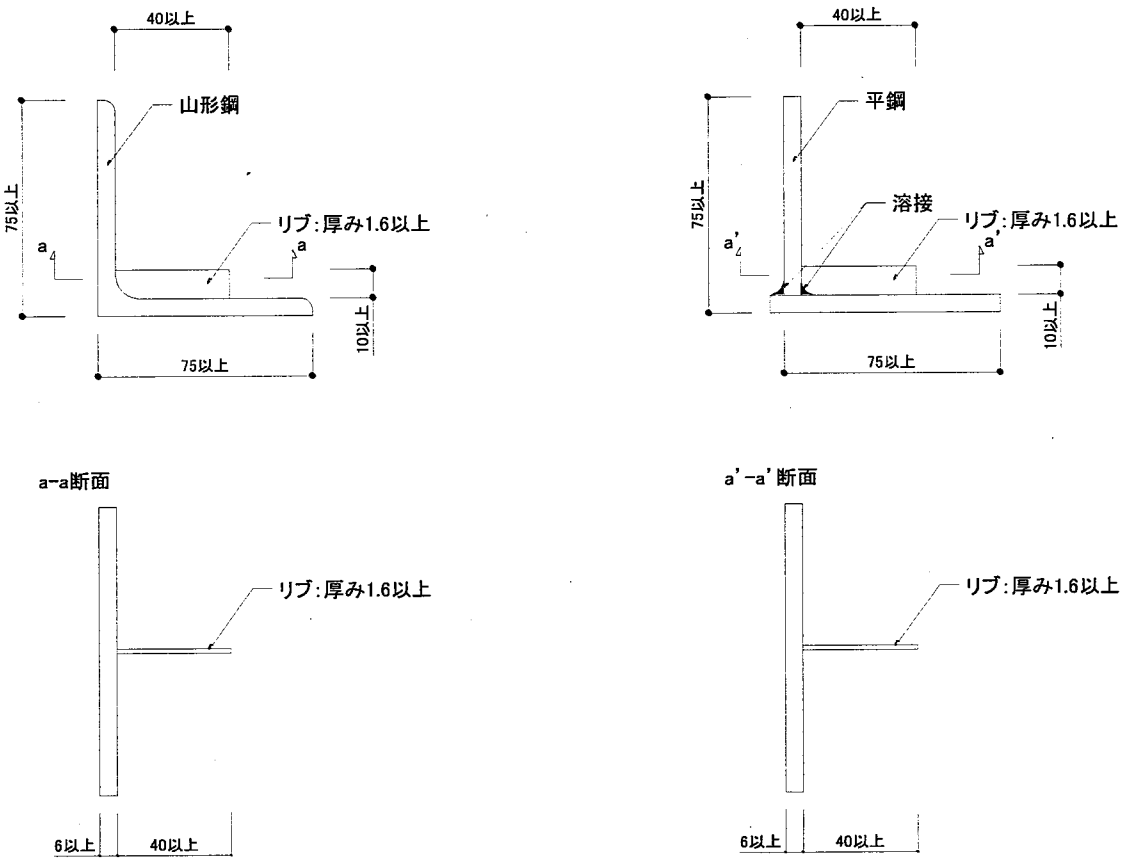



図3　構造説明図(たるき取付金物：③リブ付き山形鋼)

6. 施工方法：
施工は以下の手順で行う。

(1) 支持部材
支持部材は、構造耐力上安全なものとし耐火被覆を施す。但し、平成12年建設省告示第1399号第4第三号への規定に該当する場合には、耐火被覆を施さなくてもよい。

(2) 下地
1) たるき取付金物を、たるき間隔610㎜以下になるように、母屋等に電気溶接で取り付ける。
たるきダブル部位に用いるたるき取付金物は、たるき間隔の3倍の1820㎜以下の位置に設ける。また、たるきダブル部位にたるき取付金物の①山形鋼を用いる場合は、鋼製スペーサー等によりたるきが転倒しないように措置を講じるものとする。
2) たるき留付材を用いて、たるき取付金物にたるきを取り付ける。

(3) 野地板の取り付け
1) 割付図に従って野地板を配置する。
2) ジョイナーを用いる場合は、目地部の縦方向(たるきに対し直交方向)にジョイナーを挿入する。
3) 野地板は、野地板固定用留付材を用いて、野地板端部から100㎜以内の位置でたるきに留付ける。

(4) 防水材の張付け
1) 防水材を、重ね代100㎜以上となるように野地板の上に敷き込む。
2) 必要に応じて金属製のステープル等の留付材で仮留めする。

(5) 屋根葺き
屋根葺材を、屋根葺材固定用留付材を用いて野地板に留付ける。